

アップデート薬学機器分析学 正誤表

(2020年3月30日 初版1刷発行分)

頁	行	誤	正
3	↓8	電磁波の吸収によりより高いエネルギー	電磁波の吸収により，より高いエネルギー
3	↓10	大きさは約1桁ずつ違っている	大きさは，およそ 50,000 : 1,000 : 1 で異なっている
7	↓2	190～900nm 紫外領域	紫外領域
9	図 1-2-4	半結合性軌道	反結合性軌道
12	↓2	$\frac{0.529}{1/0.0020}$	$\frac{0.529}{0.0020}$
14	↓2	$\frac{A}{C \cdot l}$	$\frac{A}{c \cdot l}$
23	↓6	ラセミ体といい，ラセミ体を2つの…	ラセミ体といい，ラセミ体は旋光性を示さない．ラセミ体は2つの…
27	↓7	円偏光二色性の大きさは，	削除
27	↓9	左右円偏光に対するモル吸光係数	円偏光二色性の大きさは，左右円偏光に対するモル吸光係数
28	図 1-4-10	負のコットン効果 ORD $\epsilon_l > \epsilon_d$	負のコットン効果 ORD $\epsilon_l < \epsilon_d$
33	↓14～15	キニーネを含む	キニーネを含む
35	↓8～9	この散乱光は，通常，励起光より長波長側に認められる．	削除
52	↓10	選択率	選択律
52	↓12	選択率	選択律
77	↓7～13	<p>イオン化干渉とは，イオン化電位が低い元素が大量に共存することで目的元素のイオン化効率が変化し，スペクトル線強度に影響を及ぼす現象である．</p> <p>原子吸光光度法では，共存する大量のアルカリ金属元素やアルカリ土類金属がフレーム中でイオン化すると，目的元素のイオン化が抑制される．抑制された元素はイオン化状態から原子状態に戻り，原子密度が高くなるため正の誤差を示すことになる．この干渉を軽減するには，セシウム (Cs) などのイオン化干渉抑制剤を添加するのが有効である．ICP では，イオン化干渉が起こりにくい．</p>	<p>イオン化干渉とは，イオン化電位が低い元素 (アルカリ金属元素やアルカリ土類金属) が試料中に大量に共存すると，それらのイオン化によってフレームや ICP 内の電子密度が上昇して，測定対象元素のイオン化効率が変化し (イオン化平衡の移動)，吸収または発光のスペクトル線の強度が変化する現象である．</p> <p>一般的には，イオン化干渉によって中性原子線の強度は増大し，イオン線の強度は減少する．この干渉を軽減するには，容易にイオン化されるセシウム (Cs) などのイオン化干渉抑制剤を添加するのが有効である．なお，ICP ではプラズマの温度が高いこともあり，測光方式を選択すればイオン化干渉の少ない測定を行うことができる．</p>
84	↑3	下式のように	次式のように
99	↓7	6.63ppm および 7.85ppm	7.85ppm および 6.63ppm
112	↓9	a および b	a および d
151	↓13	100 回国試	101 回国試
151	↓15	100 回国試	101 回国試
151	↓17	100 回国試	101 回国試

頁	行	誤	正
151	↓19	100 回国試	101 回国試
179	↑9	オンライン検出	オンキャピラリー検出
225	表 4-2-1	核種	標識酵素
226	↑5	酵素を標識した	酵素で標識した
271	↓19	抗体を含んでいない	抗原を含んでいない
289	↓14	(図 6-2-3 (b))	(図 6-2-3 (b))